

2014年4月4日

Seajacks International Ltd.株式の一部処分（譲渡）について

株式会社産業革新機構（東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、発行済株式の約50%を保有するSeajacks International Ltd.株式の一部について、丸紅株式会社へ譲渡することを決定しました。なお、譲渡対象となる株式は、発行済株式の約5%に相当します。

（参考）INCJは、2012年3月19日に「INCJ・丸紅が協働するコンソーシアムが、洋上風力発電設備据付会社Seajacks社を買収」を公表しています。

http://www.incj.co.jp/investment/deal_027.html#info27_1

Seajacks International Ltd.について

設立：2006年3月

本社所在地：英国 Norfolk 州

最高経営責任者：Blair William Ainslie

事業内容：洋上風力据付船事業

URL：<http://www.seajacks.com/>

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計62件・総額約7,000億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整室 望月・畑

東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階

電話 : 03-5218-7200 (大代表)

[別紙]

1. 対象事業会社

Seajacks International Ltd.

- ・ 設立 : 2006 年 3 月
- ・ 代表者 : Blair William Ainslie
- ・ 所在地 : 英国 Norfolk 州
- ・ 事業内容 : 洋上風力据付船事業

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : 非公表
- ・ 実投資額 : 非公表
- ・ 共同投資家 : 丸紅株式会社 (新会社設立時)
- ・ 株式保有割合 : 50% (新会社設立時)
- ・ 支援決定公表日 : 2012 年 3 月 <https://www.incj.co.jp/news/2012/20120319-2.html>
- ・ 投資ストラクチャー図 : <https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417675128.04.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

2006 年 3 月、Seajacks 社は、英国を拠点とし、特殊船による洋上風力発電タービンの据付を行う会社として設立されました。同社は、業界でも新しい自走式ジャッキアップ船を保有し、洋上風力発電のタービン、ブレード、タワー等の設備の運搬・据付を行い、既に業界で確固たる地位を築いております。

2012 年 3 月、INCJ と丸紅により構成するコンソーシアムは、洋上風力発電分野における将来的な日本企業のプレゼンスの拡大を目指し、米国の投資ファンドである Riverstone 社から、欧州を中心に大きな成長が期待される洋上風力発電業界のキープレイヤーである Seajacks 社の洋上風力据付船事業を 100%買収することに合意しました。INCJ と丸紅は、各々50%出資します。

(2) 事業の進捗

INCJ による買収後、建造中であった 3 隻目が 2012 年 8 月より予定通り稼働を開始し、

ドイツ沖の洋上風力発電所の据付け作業を実施するなど、事業は概ね計画通り進捗しております。

また、2013年5月、INCJと丸紅は、日本ならびにアジア地域における洋上風力発電市場への事業展開を目的として、Seajacks社のグループ会社となる日本法人「Seajacks Japan社」を設立しました。

(3) Exitの経緯・内容

こうした中、INCJと丸紅で意見交換を進める中で、丸紅がマジョリティー株主としてシージャックスの技術やノウハウの吸収を加速すべく、Seajacks社の株式の一部を買い取ることとなりました。INCJとしても、再生可能エネルギーへの取組を深める丸紅が、そのネットワークを活かしてSeajacks社の営業活動を積極的に支援してきていることから、今後丸紅主導でSeajacks社を運営することが最も適切であると判断し、2014年4月、保有する一部株式を丸紅へ譲渡することとしました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

我が国風力発電産業の競争力強化を図る観点から、今回の株式処分後も、引き続き経済産業省と緊密に連携するよう努められたい。